



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2012年12月-2013年1月号
Vol.29

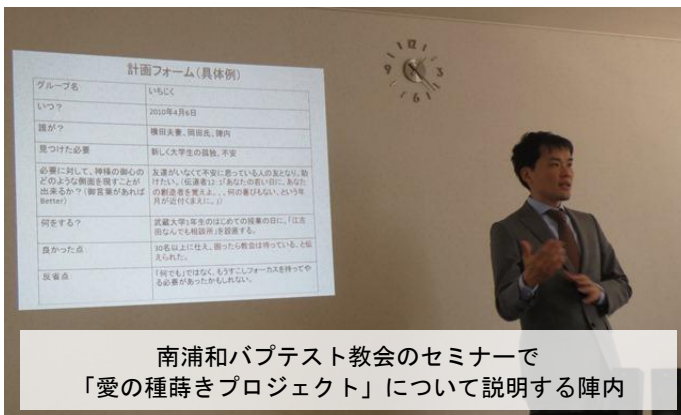
支援者の皆様へ

生活・メッセージ・支援活動・事務局の近況

支援者の皆様こんにちは。いつもお祈り、尊いご支援を心より感謝いたします。私は10月、11月は、北海道、青森、埼玉、福島、沖縄など、各地での講演やセミナーなどの奉仕で外出する期間が4割、東京にいる期間が6割、というスケジュールでした。5月に結婚して半年が経ち、自宅での生活にも2人とも少しずつ慣れつつあります。近所の光が丘公園の紅葉は美しく、この数年の私の毎年の楽しみになっています。今年は初めて夫婦二人で光が丘公園の紅葉を見、四季豊かな日本の自然を造られた神様をたたえることが出来たことは大きな恵みでした。また、(神の御心ならば)子どもが授かるまでは、出来る限りに奉仕先に妻と同行するようにしています。夫婦で同じものを観、共に祈りながら神に仕える事の出来ることは大きな祝福です。今のこの時は、後に人生のステージが変わっても私たち夫婦にとって大きな財産になるだろうと感じています。



近所の光が丘公園にて



南浦和バプテスト教会のセミナーで「愛の種蒔きプロジェクト」について説明する陣内

この4年半、数多くの場所でメッセージを語らせていただけてきました。経験の足りない未熟な私のような者が人前で何かを語る資格はない、と思いながら、それでも語って下さるのは私ではなく神様だ、と信じながら「今、自分が教えられていること」をそのまま話してきました。各地で講演やセミナーで奉仕させていただく機会は、自分の考えをまとめ、形にする、という意味で私自身にとっても大変有意義な機会になっています。10月、11月に語らせていただいたのは特に「聖書的世界観」と、「震災後の日本で私たちがどのように生きるのか?」というテーマについてでし

た。言葉が実践を生み、実践が次の言葉を生みます。これらのテーマについて生活の中に落とし込み、神が語っておられる言葉を生きることでより深く神の心を知る者とされたいと願います。

11月には、2か月ぶりに福島県を訪れました。いわき市薄磯地区は、福島県内で最も深刻な津波の被害を受け、住人の7人に1人の120名が犠牲になった地区です。発災当初から協力してきたNPO グローバル・ミッション・ジャパンがここに、「希望の象徴」として「うすいそ支援センター」を設置しました。皆様から寄せられた献金でFVIも設置費の8割の資金協力をさせていただきました。センターにはNPOのスタッフが常駐しており、毎日のように地元の方々が訪れ話していかれます。私たちも今後ボランティアを動員し、「聞き屋ボランティア」などの形で協力させていただけることを願っています。



FVI 総会・役員会が、11月5日に開催され、FVIの第二期（2011年9月～2012年8月）の振り返りと次年度の活動計画、予算案承認を行いました。これまでのキャリアで事務的な仕事は経験したことがなかったため、この2年間事務局長としての働きが十分に担えていないように感じ苦勞してきました。今も慣れてはならず、他のスタッフや多くの人々に助けられながら続けています。私の不十分さにも関わらず、FVIの活動内容では2年間という短い期間では当初出来ないと思っていたようなことをさせていただき、決算を見ても、経済的必要が不思議な程に過不足なく満たされているのを見て、神をほめたたえました。このような不十分な者が働きを続けてこられているのは皆様のお支えのおかげです。心より感謝いたします。

活動報告

奉仕と活動（2012年10月～11月）

皆様の祈りに支えられ次の場所で働きをさせていただきました。関係した方々に感謝いたします。

月日	内容	場所
10月8日	世界食料デー登別大会など	登別市（市民会館、高等学校など）
10月12日	FVIの紹介	八軒キリスト教会（札幌市）
10月14日	被災地での活動報告	グレースコミュニティ（札幌市）
10月16日	FVIの紹介	倶知安福音キリスト教会（倶知安町）
10月21日	地域変革セミナー	南浦和バプテスト教会（さいたま市）
11月5日	FVI総会・役員会	本郷台キリスト教会（横浜市）
11月7日	収穫感謝祭礼拝おはなし	コドモの園幼稚園（世田谷区）
11月11日	ビジョン・カンファレンス	鷺沼キリスト福音教会（川崎市）
11月25日	礼拝での証	沖縄ベタニヤチャーチ（那覇市）
継続的に	FVI事務局の働き	練馬、立川、吉祥寺など各地

世界食料デー（WFD）大会の意味

10月上旬に奉仕させていた世界食料デー登別大会の実行委員長である、登別中央福音教会牧師の高橋敏夫師から聞いた話に胸を打たれました。27年前、エチオピアの飢餓で大勢の人が亡くなったニュースを聞いた

高橋師は、「毎週水曜日、高橋家の食卓のおかずは、納豆だけ」と定め、食費の残りをエチオピアへの募金に充てました。これが現在のWFD 登別大会の前身である「登別アフリカ飢餓の国を支援する会」の発端でした。

FAO (国連食糧農業機関) と提携する WFD 登別大会は今年 21 年目を迎え、登別市の教育委員会、高校、行政、ロータリークラブ、障がい者団体など、多くの団体に関わる市民運動にまで成長しており、大会当日には登別市長も参加しています。教会二階牧師館の高橋家に 4 泊させていただいた私は、27 年経った現在も続くこの「毎週水曜日の納豆ごはん」をいただく特権に与りました。世界食料デーには多くの市民の方々が 5 円、10 円という募金を一年間続けてきた募金箱から、エチオピアの働きのために支援金が捧げられました。



FVI は昨年から、エチオピアのストリートチルドレンを教育する働きを支援しています (昨年の支援額は 413,708 円)。この働きはギザチュウという当時 18 歳の少年が仲間と「ポケットにあった 1 ドル」で始めましたが、17 年経った今年、この NGO の支援で元路上生活の子どもが大学を卒業し、エチオピアの未来を担い始めています。日本と海外を結ぶ架け橋が、「ポケットの 1 ドルの捧げもの」と「毎週水曜日は納豆」という小さな決意から生まれたことに、神が紡ぎだす「からし種のストーリー」の美しさを感じました。

新しい取り組み

夫婦での「聞き屋ボランティア」

私たち夫婦は結婚後、江古田、池袋、吉祥寺などの街で、ときには仲間と、ときには夫婦だけで「聞き屋ボランティア」を行っています。出張が多いため定期的には出来ませんが、自分たち出来る「小さな愛の種蒔き」として極力継続していきたいと願っています。毎回幅広い年齢層のお客さんとお話することが出来、私たちも楽しんで奉仕させていただいています。



祈りの課題

◇私が日々神様と近く歩むことが出来るように。喜んで神の奉仕に励むことが出来るように。

◇FVI が神のなされる働きの一部として用いられるため、良く神に聴き忠実に従っていくことが出来るように。

◇FVI が支援している世界の諸団体のため。現地の「声なき人々」が働きを通して神に触れられるように。

今後の予定

月日	内容	場所
12月2日	礼拝メッセージ	練馬グレースチャペル
12月17日	クリスマス礼拝おはなし	コドモの園幼稚園
12月下旬	震災支援活動	福島県
2013年1月21～27日	DNA Korea 10周年式典出席	ソウル（韓国）
2月24日	礼拝メッセージ	練馬グレースチャペル
2月25～26日	FVI 役員会	万座温泉ホテル
3月10～25日	DNA フォーラム／南米視察	ブラジル・ボリビア（予定）
5月18日	隣人を愛する習慣づくりセミナー	高座教会（大和市）
6月2～16日	ガーナからし種運動訪問	ガーナ（予定）
10月下旬	WFD 岡山大会	岡山市
随時継続的に	国内啓発活動およびフォローアップ	国内各地
随時継続的に	F V I 事務局の働き	練馬など各地

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」

久米川 090-5607-7389 陣内俊（本人携帯） 090-6264-8542

Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

*2カ月に一度、プレイヤーレターに2枚（2か月分）お送りさせていただき振替口座の振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。

*Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。